

科 目 名
中国語Ⅳ ChineseⅣ

3 年 後期 2 単位 選択
単 援 朝

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1), 2-(1), 3-(5)
建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準 1 の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	—	建築総合コース	選択	22.5時間
	A 4	建築計画コース		
	a, f, g	建築構造コース		

【概 要】

中国語Ⅳで、中国語Ⅲに引き続き会話練習に力を入れながら、読解や作文を通して中国語の組み立て方を学ぶ。つまり、中国語で表現されたものを理解することを中心とするこれまでの学習法を少し変え、自分で表現する立場から中国語を捉え直し、さまざまな表現をアクティブに使えるようにより高度なコミュニケーション能力の養成を目指す。

【到達度目標】

- (1) ピンインを完全に攻略する。
- (2) 会話文の特徴を理解する。
- (3) 文章の書き方を理解する。
- (4) ある程度会話ができ、複文を含む簡単な文章が読め、書ける。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① 学校に帰る	補語（1）、例の挙げ方
② 学校に帰る	応用会話
③ 文法・表現のまとめ	第二ユニット
④ 訪 問	補語（2）、例の挙げ方
⑤ 訪 問	応用会話
⑥ 屋上の景色	補語（3）
⑦ 屋上の景色	応用会話
⑧ アイス豆乳	“把”構文、同時進行の表現
⑨ アイス豆乳	応用会話
⑩ ナゾナゾ	補語（4）
⑪ ナゾナゾ	応用会話
⑫ 文法・表現のまとめ	第三ユニット
⑬ ピアノを弾く	補語（5）、疑問詞
⑭ ピアノを弾く	応用会話
⑮ 復 習	第九課～第十五課 学生自身による自己評価

【授業方法】

中国語で表現できるように会話練習のほか翻訳、作文にも力点を置く。応用会話で同じ表現を繰り返し練習させる。毎回、授業の最後に練習問題を課す。

【学習到達度の評価】

- 1) 授業中に特に会話練習と質問を通して学生の理解度を確認する。
- 2) 毎回、その日に学んだ内容を中心とする練習問題をやらせ、次の授業の冒頭で正解を発表し、問題点の指摘、解説を行う。
- 3) テストの講評を行う。

【評価方法】

- 1) 練習問題、小テスト（40%）、定期試験（60%）の成績で総合的に評価する。その合計が60以上を合格とする。60点以下の場合は、再試験を実施する。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行う。

【教科書・教材】

董燕／遠藤光暁 著『話す中国語 初級～中級』朝日出版社

【履修上の注意】

会話練習に積極的に参加すること。